



RTV-2 VP7550

RTV-2 シリコーンゲル

<特徴>

RTV-2 VP7550は、室温で硬化する2液縮合反応硬化型の液状シリコーンゲルです。

- 低粘度であるため優れた流動性
- 肌色に着色済
- 低硬度 (針入度、84, 150g標準円すい)
- 硬化後の高い柔軟性及び弾力性
- 触媒毒による硬化阻害が発生しない。
- 弊社品SLJ3253 (硬度 Shore A 20, 引裂強度 30 [N/mm])と混合することにより強度及び硬さの調整が可能

<用途>

- ポリウレタンフィルムで覆った体外用胸パッド
- 低硬度・弾力性の必要な各種ゴム製品 (マネキンの皮膚等)

<一般物性>

硬化前(代表値)

	試験方法	単位	
外観			肌色
粘度 23	BROOKFIELD型粘度計	mPas	3,500
密度 23		g/cm ³	1.02

硬化後(代表値) 23 ・相対湿度50%雰囲気下, 96時間後

外観			肌色
密度 23	DIN 53479 A	g/cm ³	1.02
針入度(硬さ)	針入度,150g標準円すい, 5秒間 9.38g 1/4円すい	1/10mm	84 5
引張強さ	DIN 53504 S1	N/mm ²	0.4
破断時伸び	DIN 53504 S1	%	400
線収縮率	7日後	%	0.3 - 0.6
線熱膨張係数	0 - 150	m/m K	2.0 x 10 ⁻⁴

加工時特性 (代表値)

標準硬化条件	23 ・相対湿度 50%
混合比	VP7550: CATALYST T40 = 100:2
混合後粘度	3,000[mPas]
作業可能時間	140 ~ 60 分 (VP7550: CATALYST T40 = 100:2 ~ 4)
硬化時間(厚み1cm)	24 ~ 12 時間 (VP7550 : CATALYST T40 = 100: 2 ~ 4)

*1)作業可能時間は、硬化剤を添加して攪拌を開始してから、シリコーンゴムを注入終了するまでの目安となる時間のことです。

*2)硬化時間は、シリコーンゴムを注入してから脱型可能になるまでの目安となる時間のことです。

*3)作業可能時間と硬化時間は、高温・多湿下では短く、低温乾燥下では長くなる傾向があります。

*4) 硬化剤の添加量を増やすとに硬化物はやや硬くなる傾向があります。

<加工方法(一般)>

- (1)「予備攪拌」… 充填材が沈殿していることがあるのでよく攪拌する。
- (2)「計量」… 主剤を天秤で容器に量り取り、所定量の硬化剤を添加する。
このとき、使用する容器の容積は主剤の4倍以上にする。
- (3)「混合攪拌」… 両液が均一になるまで良く攪拌する。
できれば、攪拌機(ミキサー)を用いることが望ましい。
- (4)「予備脱泡」… 真空ポンプとデシケーターを用いて、脱泡する。普通は5～10分間。
長時間脱泡すると硬化に必要な成分が揮発し、硬化が遅くなったり不十分になることがある。
- (5)「注入」… 空気を巻き込まないように注意しながら注入する。
- (6)「硬化」… 室温下で硬化させる。

<貯蔵安定性>

直射日光、雨水の当たらない5 ～ 30 の冷暗所保管、未開封の条件の下、製造後約12ヶ月を目安としています。もし製品のライフがきれた場合でも、用途や加工方法により、十分に品質チェックを行った上で、ご使用になれる場合もあります

<荷姿>

- ・ 20KG ペール缶 + 40G ガラスボトル × 20本(硬化剤 CATALYST T40)
- ・ 1KG ペール缶 × 10缶 + 40G ガラスボトル × 10本(硬化剤 CATALYST T40)

<安全性について>

CATALYST T40 は成分として有機スズ化合物を含有する引火性液体(引火点 30 以上)です。適切な作業環境の下で保護具を着用し作業して下さい。

医療用途、食品に接触する用途には使用できません。

包括的な規定については、製品データシートに記載されておりますので、ご必要な場合は、弊社にお問い合わせください。

<危険物等級>

RTV-2 VP7550 消防法 指定可燃物(可燃性液体類)
CATALYST T40 消防法 第4類第2石油類

当社の製品は、一般工業向けに開発・製造されたものです。医療用途、その他特殊な用途に使用される場合には、貴社にて事前に御試験の後、当該用途での安全性を御確認のうえ御使用下さい。なお、体内に埋植、注入する用途、または体内に一部が残留する恐れがある用途には、絶対に使用しないで下さい。

- ・ この製品をご使用になる前に、製品安全データシート(MSDS)を必ずお読み下さい。
- ・ このリーフレットに記載されているデータは、弊社の試験方法による実測値の一例であり、規格値ではありません。記載データは製品改良、仕様変更などのために、断りなく変更する場合があります。
- ・ ご使用に際しては貴社にて事前にテストを行い、使用目的に適合するか必ずご確認下さい。なお、本文中で御紹介する用途は、いかなる特許に対しても抵触しないことを保証するものではありません。

2004.6.7./0305/0304 /0112 /9806/KT(04)/ELD-RTV VP7550

旭化成ワッカーシリコン株式会社

東京本社 東京都千代田区神田錦町 2 - 9
コンフォール安田ビル 9F
tel. 03-5283-8850 fax. 03-3291-2282

大阪営業所 大阪府大阪市西区阿波座 1 - 4 - 4
野村不動産四ツ橋ビル 8F
tel. 06-6535-8515 fax. 06-6531-2561